

第 24 回ひと・ことばフォーラム特別公開研究会  
政治とことば：  
社会と歴史をめぐる「声」をどう聴くか？

当フォーラムは、様々な言語現象を研究対象に「ことばと人はどうかかわるか」を考える研究グループです。通常、関東・関西を Skype で結んで定期的に研究会を実施しています。今回は「政治とことば」というテーマで下記セッションを組み、公開研究会を開催致します。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

☆第 24 回ひと・ことばフォーラム特別公開研究会  
政治とことば：社会と歴史をめぐる「声」をどう聴くか？

本セッションでは、現代社会、そして歴史の空間のなかで語られる政治的言説を拾い上げて、その言説を織りなす縦糸と緯糸を読み解くことを試みる。具体的には、ラジオ(太田)、Facebook(高田)、新聞(名嶋)などのメディアを介して発せられた「声」に着目し、そのことばが権力者と市民のあいだ、同時に、市民一人ひとりのあいだを繋ぎ、政治言説を動的に紡ぎゆく様相を明らかにする。

☆開催日時：2018 年 3 月 17 日（土）14:00~18:00

☆会場：東洋大学 白山キャンパス 6 号館 6203 教室

<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

☆プログラム：

14:00-14:10 フォーラム・セッション趣旨説明：三宅和子（東洋大学）

14:10-15:00 太田奈名子（東京大学）「占領下日本のラジオで伝えられた War Guilt」（仮）

15:00-15:50 高田博行（学習院大学）「ドイツ右派ポピュリズムにおけるナチ的言説をめぐる一政治家が語ることば、Facebook に書き込まれることば」

15:50-16:00 休憩

16:00-16:50 名嶋義直（琉球大学）「オスプレイは「墜落」したのか「不時着」したのか—新聞に見る、権力に「対抗する談話」と「追従する談話」

16:50-18:00 全体討論

※フォーラム終了後、自由参加の懇親会（会費は一般 5000 円、学生・院生 3000 円）を開催しますので、こちらもぜひご参加ください。

年度末のご多忙の時期とは存じますが、多くの方にご参加いただければ幸いです。教室、懇親会会場の都合上、ご参加を希望される方は運営担当の新井保裕（東京大学：arai.hoyu@gmail.com）まで、①お名前 ②ご所属 ③懇親会参加の可否、をあらかじめご連絡くださるようお願い致します。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。